

公開審査会のポイント

① 審査の際に基準とする主な点

演劇コンペ

- ・実験性やオリジナリティが感じられるもの
- ・これまでの演劇観にとらわれない方向性が感じられるもの
- ・これからの活躍や発展が感じられるもの

戯曲コンペ

- 募集テーマである「ともに生きる～多様性の時代に生きるということ～」という考え方を感じられるもの
社会性や時代性が感じられるもの
表現に独自性を感じられるもの
これからの活躍や発展が感じられるもの

② 審査会の流れ(演劇・戯曲共通)

審査委員による総評・個別講評



第1回投票(各審査委員が1作品に○、2作品に○)



投票結果をもとに議論し、最終投票に進む3作品程度を選出



第2回投票(各審査委員が1作品に○)



投票結果をもとに議論し、大賞1作品を決定

③ 演劇コンペの上演レギュレーション

- ・20分～40分の作品であること。
※各団体の上演時間を記録し、審査委員に報告します。
- ・他団体との転換を規定の時間内(仕込み10分、バラシ5分)で終えられること。
※時間内で転換するのは置き道具・舞台美術等。
舞台機構に関する部分は規定時間に含まれません。
※3月24日のゲネプロにおいて転換時間を計測し、各団体が転換を規定の時間で終えられることを確認しています。